



市内各地で行われたイベントやまちの話題をお届けします。



5 「福祉のまちづくり」実現へ高校生がアイデア発表

市内高校生による「市地域福祉計画等策定に係る高校生によるワークショップ報告会」が開催され、「福祉のまちづくり」実現に向けたアイデアを発表しました。

島原翔南高校総合学科の生徒は、廃校舎などで地域の特産物を提供するカフェやマーケット、キッズスペースなどを通して地域交流の場をつくることなどを提案。また、口加高校福祉科の生徒は「口加げんき体操」の普及や「介護体験教室」の活動を広げることで、元気な高齢者を増やせるのではと分析しました。

今回発表した内容は策定を進めている「市地域福祉計画及び地域福祉活動計画(令和3～7年度)」に掲載する予定です。



6 商船三井が創業の地で高校生に海洋教育支援

口加高グローバルコース1年の早崎潮流プロジェクト班は、早崎瀬戸の潮流を利用した発電の有効性について探究活動を行っており、昨年9月から各分野の専門家による講義(8回)を受講しています。このプロジェクトは、(株)ダイゾーの相川武利代表取締役社長(西有家町出身)の提案により、実現したものです。

9回目の今回は、1878年に口之津町で創業した海運会社の(株)商船三井の技術部門の社員が、オンラインで再生可能エネルギー技術開発について説明しました。

受講した生徒は「自然エネルギーは環境にも優しく世界でも注目されている。地域資源を活用した取り組みで地元へ貢献したい」と話しました。



今月の写真

Q. さて、ここはどこでしょう?
A. 答えは次ページの下段をご覧ください。

いつまでもお元気で
～100歳おめでとうございます～



本多 カツヨさん(深江町)
大正10年1月19日生まれ



田口 導さん(口之津町)
大正10年2月1日生まれ



川村 三代次さん(有家町)
大正10年2月10日生まれ

関 ミツエさん(北有馬町)
大正10年1月24日生まれ

原口 セツヲさん(加津佐町)
大正10年2月1日生まれ



2 イングリッシュ・パフォーマンスコンテストを開催

1月6日、「令和2年度 南島原市イングリッシュ・パフォーマンスコンテスト」を開催しました。

市内各中学校から、総勢13人の生徒が、教科書の英文などを題材に、日ごろ培ってきた英語でのスピーチを堂々と発表しました。

最優秀賞には、林田芽依さん(加津佐中3年)、優秀賞には、松本るなさん(深江中3年)、松尾萌生さん(加津佐中3年)が選ばれました。

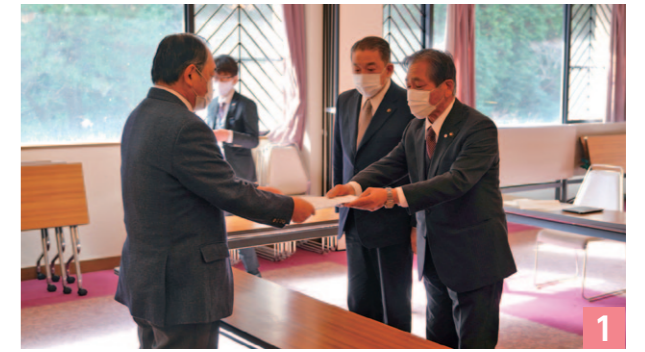


4 ミナサポがドローン寄贈

1月14日、(株)ミナサポが12月にプログラミング学習を行った加津佐小学校にドローンを寄贈しました。これは、ミナサポが地域貢献事業の一環として市内の子どもたちにIoTを身近に感じてもらうことを目的に実施したものです。

この日は早速ドローンを使って、プログラミングどおりに動かして試運転を行い、6年生の代表者からは「もっとさまざまなことに生かせるようにプログラミング学習をがんばって勉強したい」との感想がありました。

ミナサポでは今後もこのような取り組みを継続していく予定です。



1 新型コロナウイルス予防接種

～安全安心なワクチン接種に向けて協力依頼～

1月25日、本市の松本市長と雲仙市金澤市長が南高医師会事務局を訪問し、南高医師会の馬場恵介会長へ要望書を提出しました。

新型コロナウイルス予防接種を開始するにあたり、市民が安心して接種を受けられる体制整備や、速やかに、かつ安全に2回のワクチン接種を完了できるように協力をお願いしました。

馬場会長は「接種に関する情報が限られており解決すべき課題があるが、地域医療を支える医師会として、ワクチン接種には十分に協力したい」と話しました。



田栗亜衣さんの作品

3 絵画コンテストで最優秀賞
～虹の橋が未来をつなぐ～

長崎県・熊本県・鹿児島県が一体となって推進している島原・天草・長島架橋構想の事業の一環として、小中学生を対象とした絵画コンテストが毎年行われています。

令和2年度の絵画コンテストで、田栗亜衣さん(加津佐小6年)の作品「レインボーリムブリッジ」が見事、長崎県内における小学生部門の最優秀賞に輝きました。

審査員からは「色とりどりで明るく、優しい色使いが見る人の心を癒してくれる。細部まで心をこめて描いている様子うかがえた」と評価されました。